

# NEWS LETTER



△ ボランティア塾 in 鶴嶺高校 (10/3開催) △

## CONTENTS

- ・ 今後の主催イベント
- ・ 開催報告「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」「SDGs カフェ 10」、「NPO 講座 1」、「IT スキルアップミニ講座 2」
- ・ 図書コーナー、貸出備品
- ・ 「さぼちゃんが行く！」
- 平和を考える茅ヶ崎市民の会実行委員会
- ・ お知らせ/カレンダー

# サポセンはみんなの想いでできている



2011年から10年余、花壇や施設周りのメンテナンスをして下さった K さんの「作業日誌」ノート。細かく記された手書きの文字に、あふれるサポセン愛を感じます。サポセン開設直後から窓口スタッフとして勤務され、退職後も台風の際はいち早く土嚢積みにつけ、利用者としても定期的に元気な顔を見せに来てくれていましたが、今月突然のお別れに。。。ここに深い感謝と心から哀悼の意を表します。

## 今後の予定

Dec  
12月

- ▷12/4(水) 午後 市民活動の「相談会」
- ▷12/7(土) 14:00～16:00  
NPO 講座 2 「仲間づくりのコツ」
- ▷12/14(土) 10:00～12:00  
「こどたん+2025」場所時間調整会議

Jan  
1月

- ▷1/11(土) 14:00～16:00  
SDGs カフェ 11 「地域で生きるあなたの力  
ちよこっと健康おせっかい」  
ゲスト:PuHU〜わくわくする健康おせっかい〜
- ▷1/16(木) 14:00～16:00  
NPO 講座 3 「『生活支援体制整備事業』の事例  
から学ぶ 協働・連携事業のつくり方」

Jan  
1月

- ▷1/26(日) 14:00～16:00  
SDGs カフェ 12 「農がなければ食もなし  
～地域から考える都市農業の未来～」  
ゲスト:ふるさとファーマーズ、オーガニックちがさき

Feb  
2月

- ▷2/22(土) 14:00～16:00  
NPO 講座 4 「第2回茅ヶ崎ミライトーク」

Mar  
3月

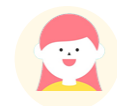
- ▷3/9(日) 10:00～15:30  
「こどたん+2025」@ちがさきサポセン
- ▷3/10(月)～3/19(水)  
市民活動パネル展  
@市役所本庁舎1階市民ふれあいプラザ



ちがさきを知る

みんなでつながる

新しいことに  
チャレンジする



# ことたん<sup>プラス</sup> 2025

会場  
「ちがさきサポセン」

2025年 3 月 9 日(日) 10:00~15:30



出店内容をちょこっと紹介♪ 内容は変更になる場合があります

## ～館内～ ワークショップ

- ・レモン電池実験
- ・竹とんぼづくり
- ・点字で名刺づくり
- ・自転車につけるオリジナルプレートづくり
- ・魔法チョークを使ってお絵描き
- ・羊毛でお絵描き
- ・イースターバニーづくり など

## ～屋外～ ワークショップ・物品販売

- ・アマチュア無線体験
- ・自然観察体験
- ・コマづくり
- ・木工品の販売 など

## ボランティアさん募集 (まつり盛り上げ隊員)

あなたのちょっとしたチカラで  
まつりを一緒に盛り上げてみませんか。

◎何かやってみたい！

◎市民活動って気になる～！

興味がある方、お待ちしております♡

## サポセン企画コーナー

- 🌸 ワードラリー
  - 🌸 企画検討中！
- お楽しみに～♪

## <予告>

当日(3/9)は、小学生以上の  
「まつり盛り上げ ことも隊員」を募集！

詳細が決まり次第、HP など  
お知らせします、お楽しみに♪



参加団体  
募集中

## 市民活動団体の活動 PR

## 「パネル展」 参加団体募集！

日頃の活動成果やイベント開催の予告、会員募集など、市民活動団体のパネルを市役所で展示します。団体の思いをパネルに込めて、オリジナルパネルで PR してみませか。

- ▶ 展示場所：茅ヶ崎市役所本庁舎 1 階 「市民ふれあいプラザ」
- ▶ 展示期間：2025 年 3 月 10 日(月)～3 月 19 日(水)
- ▶ 募集件数：28 団体 (申込み先着順)
- ▶ 参加条件：①「市民活動団体ガイドブック」で情報公開している  
②A1 サイズのパネル 1 枚を作成する(サポセンのパネル貸出可)  
③ 2 月 28 日(金)までにサポセン窓口へ提出  
※「市民ふれあいプラザ」への搬入搬出はサポセンスタッフが  
行います。
- ▶ 申込方法：12 月 16 日(月)より受付開始／電話・メール・窓口にて



好評だったパネル展を今回も！  
多くの方に団体の活動を伝え、  
興味関心をもってもらいたい機会！



## 第11回

## SDGsカフェ

## 地域で生きるあなたの力 ちょっと健康おせっかい

「健康おせっかいって何だろう」「身近に元気にしたい人は誰かな」「どんなことをしたら元気になるかな」温もりとやさしい思いのつながりの輪が地域に広がるように、自分にもできそうなことはないか、みんなで一緒に考えてみる交流会です。

▶開催日時：1月11日(土) 14:00～16:00

▶ゲストスピーカー：熊切 つぐ美さん・白井 幸子さん

(PuHU～わくわくする健康おせっかい～(旧コミュニティナース茅ヶ崎) 共同代表)

▶対象：おせっかいデビューしたい人、どちらかというとおせっかいが苦手な人、いろいろお世話焼きをしている人、地域福祉に関わる人、コミュニティづくりに関心がある人、医療・看護を目指している学生も大歓迎！

▶定員：30名(申込制、先着順)

※手話・筆記通訳、託児(生後半年～3歳/先着3名)が必要な方は12/12(木)までにお申し込みください。

▼申込はコチラ▼

受付 12/1～



## 第12回

## SDGsカフェ

## 農がなければ食もなし ～地域から考える都市農業の未来～

持続可能な地域づくりには、農業の担い手の多様化や地産地消の推進、食農教育(食と農業の教育)が重要となります。市内で活動する2団体の実践報告から食農教育の現状と課題を学び、都市農業の未来の姿を語り合います。参加者同士のネットワークも広がる交流会です。

▶開催日時：1月26日(日) 14:00～16:00

▶ゲストスピーカー：石井 雅俊さん(NPO法人ふるさとファーマーズ 代表)、酒井 彩子さん(オーガニックちがさき 代表)、吉野 正人さん(茅ヶ崎どっこいファーム園主、オーガニックちがさき コアスタッフメンバー)

▶対象：食と農に関心のある方、農業従事者、市民活動団体、学校関係者、自治体職員 等

▶定員：30名(申込制、先着順)

※手話・筆記通訳、託児(生後半年～3歳/先着3名)が必要な方は1/9(木)までにお申し込みください。

▼申込はコチラ▼

受付 12/1～1/23



## NPO 講座3

## 「生活支援体制整備事業」の事例から学ぶ～ 協働・連携事業のつくり方

生活支援体制整備事業として、関係団体等が集まり設立した生活支援協議体「るーたー大磯」が企画した40～50代向け、福祉と介護を考えるフリーペーパー「GeeYa:OISO」。様々な主体が課題とゴールを共有し、協力してひとつの事業をつくるために何が必要か、一緒に考える講座です。

▶開催日時：1月16日(木) 14:00～16:00

▶ゲストスピーカー：細住 孝次さん(大磯町社会福祉協議会 事務局長)

▶ファシリテーター：小山 紳一郎((認定特非) NPO サポートちがさき 協働コーディネーター)

▶対象：つながりのキッカケや連携後の具体的なアクションの起こし方に悩む市民活動団体、行政、福祉関係機関、地縁団体、事業者、中間支援機関スタッフ 等

▶定員：20名(申込制、先着順)

※手話・筆記通訳、託児(生後半年～3歳/先着3名)が必要な方は12/26(木)までにお申し込みください。

▼申込はコチラ▼

受付 12/1～1/14



## NPO 講座4

## 「第2回 茅ヶ崎 ミライトーク」

▶開催日時：2月22日(土) 14:00～16:00

プレゼン  
団体募集

5年後・10年後に向けて市民活動団体と行政と一緒にできることを考える、未来志向の対話イベント。自分たちの活動をより多くの人に知ってもらい、新たなつながりをつくる場でもあります。市長、副市長、参加団体との意見交換・交流もあります！

▶募集数：8団体(プレゼン時間は1団体5分)

▶エントリー条件：①行政との協働・連携に向けての「新たな」取り組み提案があること  
②サポセンデータベース登録済、またはこれから登録予定の市民活動団体

▼申込はコチラ▼

受付 1/14～1/24



# もっと知りたい！サポセンのこと

～市民活動応援プログラム～ 2024 年 10 月～11 月 開催報告

## 開催報告

## ボランティア塾 in 鶴嶺高校 2024

◆日時：2024 年 10 月 3 日(木) 第 1 部(13:25～14:15)、第 2 部(14:25～15:15)

◆場所：第 1 部...体育館 第 2 部...1 年生教室ほか (16 カ所の教室)

◆対象：1 年生 381 名

◆探究授業内容：第 1 部...BENIRINGO

『楽しいが行動につながる』身近な課題と課題解決に向けた自分達らしい働き方

第 2 部...市民活動団体 16 団体による選択授業

2010 年から鶴嶺高校の探究学習の授業支援として実施しているボランティア塾では、サポセンが市民活動団体による授業をコーディネートし、団体の活動や思いを直接高校 1 年生に伝えています。生徒が地域や社会の課題を知り社会貢献や自身の進路・生き方を見つめ直す機会となることを目指しています。

今年のテーマは「SDGs」です。「茅ヶ崎×SDGs」の観点から 1 部・2 部共に生徒たちが質問シートを作成、テーマに合わせた問いをインタビュー形式で行うことにもチャレンジしました。

### <第 1 部 BENIRINGO 全体講義>

ボランティア塾第 1 部は、少し緊張気味の生徒 2 人の司会で始まりました。サポセンより益永 (NPO サポートちがさき代表理事) がサポセンの紹介とボランティア塾の経緯を説明し、質問シートにインタビューをメモすることを生徒に再確認後、BENIRINGO の講義となりました。

1. 共同代表 田中藍奈さん/阿部汐里さん 自己紹介

2. 現在の活動紹介と発信

フリーペーパー/訪問授業/イベント開催(河口クリーン)/ラジオ DJ 等の活動を WEB で発信

3. BENIRINGO 結成の経緯と二人の出会い

中学生の時に食品ロスと飢餓問題に関心を持ち、2019 年に SDGs を知り、みんなに知ってほしいなどの想いが活動の原点です。この時期の二人の出会いは相乗効果を生み、現在のマルシェ/フリーペーパーの拡大に繋がっています。「多くの人に助けられています」と笑顔で振り返ってくれました。

4. より具体的な活動へ

生徒への質問を交えながら、海のごみについて/相模川の河口でのごみ収集/海洋プラスチック(生き物への影響)/海外(カンボジア)のごみ事情・ごみ意識の解説と紹介をしてくれました。

現在ごみ問題・環境問題・社会問題等多くの問題がありますが、自分で知り、考え、そして自分に合った繋がる方法を実践してほしいと結びました。



講演後の生徒からのインタビューでは、

「環境で茅ヶ崎市の一番の問題は何ですか」

「何から始めたら良いかアドバイスをください」

の質問がありました。BENIRINGO の意見を参考に、生徒からは「今自分たちができることを一つずつ取り組んでいきたい」との発言がありました。

その後の生徒たちからのアンケートでは

・これからの行動や活動の参考になった (95%)

・BENIRINGO の活動参加に興味はある (52%)

と、興味と共感を得られた講義になったと思います。

### <第 2 部 選択授業と生徒のふりかえり>

今回、初めて参加する団体は 5 団体でした。授業時間は実質 40 分位という短い時間の中で、SDGs を意識した工夫のある授業が生徒たちの共感を得られたようです。

「SDGs と聞くと、私たちには少し大きすぎる課題に聞こえるけれど、一つ一つに向き合えば、私たちにできることもあるんだなと思えた」「小さなことでも自分のことをやろうと思った」「自分たちにできることが何かを考え行動に移していきたい」など、ボランティア塾が目標としている「きっかけづくり」につながる感想が多くみられたことが嬉しいです。

また、団体からは、「好奇心に満ちたエネルギーを感じた」「高校生の頭の柔らかさに感動した」「前を見ている、未来を見ているそんな力強さを感じた」など、思いもしなかった新しい発見もあったようです。

普段の生活の中では、なかなか機会のない高校生とよとの触れ合う時間は貴重なもののようです。高校生は今まで知らなかったことが知れて、興味の視野が広がり、市民活動団体のおとなたちは、高校生からパワーと刺激をもらえたようです。生徒たちのアンケートで、「ボランティア塾を通して SDGs の目標番号で興味のあるもの」が均等に 17 に分かれていたことに授業の成果を感じました。



▲団体が授業で使用了資料の一部



▲ピアノ伴奏で朗読/市民劇団オンリーワン

### 《参加団体》

サンチャイ・ネパールねばるば/筆記通訳サークル「虹」/PuHU ～わくわくする健康おせっかい～/NPO 法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会/遊びでまちづくりする準備室/市民劇団オンリーワン/チームみつばち/NPO 法人発達サポートネットバオバブの樹/ふらっと南湖(南湖ハウス)/湘南やさしい日本語プロジェクト/わんにゃんマルシェ/TAKURAMI 不動産/湘南のきさきフルーツプロジェクト/防災スイッチオン！プロジェクト/平和を考える茅ヶ崎市民の会実行委員会/Familio



◇日 時：10月27日(日) 14:00～16:00

◇ゲストスピーカー：鳥羽瀬 孝臣さん（東京理科大学非常勤講師） ◇参加者：14名

### <新しいテーマに挑戦>

10回目を迎えた今回のテーマは「環境倫理」です。気候変動や生物多様性など地球規模の問題をグローバルな(=Think Globally, Act Locally-地球規模で考え、地域で行動する)3つの視点(地球の有限性/自然価値/世代間倫理)から学び自分ごととして捉えようとする企画で、環境に興味がある団体や企業など様々な立場の方が集まりました。少し難しいテーマでしたが活発な意見交換が行われ新しい交流が生まれました。

### <プレゼンテーション&交流会>

茅ヶ崎商工会議所で開催されている CHIGA ECO TALK でも活躍されている鳥羽瀬さんならではの数字データに今までの経験や実績が加味されている興味深い話が続き「情報たっぷりの話が面白かった」「もう

少し時間を取って欲しかった」との意見を頂きました。又、質問タイムでは「環境問題は、どこに責任があるのかを考えないと有効な対策が検討しにくい」「イノベーションの過度の期待は?」「自社へ環境の取り組みを提案したいのでアドバイスが欲しい」といった将来を見据えた積極的な質疑がありました。

4 グループに分かれての交流会も積極的な意見交換が行われ、発表では環境への皆の真剣な取り組み、行動変容の大切さ、世代間での意識相違などが語られ、面白いチャレンジになった SDGs カフェとなりました。



## NPO 講座 1

### ～活動を楽しく広げていくために... どう考える? 活動継続と事業の承継

◇日 時：11月9日(土) 14:00～16:00

◇講 師：田所 喬さん（NPO法人NPO・フュージョン長池 理事長） ◇参加者：19名

「メンバーの高齢化」「若手会員が不足」「活動を引き継ぐ人がいない」など、団体アンケートから最近よく聞かれるお悩み解消の一助になればと企画しました。講師は、多摩ニュータウン南西部で都市公園の指定管理他、



多様な事業を展開している NPO 法人の2代目理事長。

大きな組織の2代目のプレッシャーや自身のパパ会引継ぎ失敗談なども交え、「一人一人が主役」の組織運営につ

いて、「多くの人に関わり協力者を増やしていく」ために何をすればよいのか等、具体的な実践事例をもとに、継続や若い人材が活躍するためのヒントやアドバイスをたくさんお話をいただきました。

「この課題に対する特効薬はない」とのことですが、団体のお悩みにはとても真摯に対応くださり、課題を整理しながら参加者みんなで一緒に解決策を考えました。

アンケートでは、「具体的な事例紹介がわかり易かった」「他団体との連携の重要性を感じた」「グループごとの情報交換が良かった」などの意見が寄せられました。

## IT スキルアップミニ講座「LINE 公式アカウント」全2回

◇日 時：11月15日(金)・22日(金) 13:30～16:30

◇講 師：有賀 康江さん（NPO 法人 セカンドワーク協会）

◇参加者：6団体10名



スマホユーザーなら誰でも馴染みのある「LINE」で団体の活動を情報発信するための方法として、公式アカウントの登録方法から、活動に興味を持ってくれた「お友だち」を増やすコツや、イベント参加の申込みなど、画面の大きなパソコンから運用していく方法を2週にわたり学びました。

参加者たちは LINE 公式アカウントの活用を検討中の、市民活動団体や地縁団体などの公益活動団体のみなさんで、LINE ユーザーです。それぞれの団体から数多くの質問があり、その前向きな意欲がとても感じられ、今後の団体情報の広報に LINE 公式が活用されることが期待されます。



最新情報はコチラ



館内の一角に図書コーナーがあります。市民活動やまちづくり、SDGs、コミュニティデザイン、地域福祉など幅広い分野の旬な専門書や雑誌を取り揃えています。社会的課題の現状、課題解決の知恵や取り組み事例、組織運営や広報など、市民活動のヒントがきっと見つかります。これから市民活動を始める人、すでに始めている人、まちづくりの最新動向に関心を寄せる自治体職員の方々、ぜひ一度、手に取ってご覧ください。半年ごとにおすすめ本を紹介しています。

貸出期間は2週間、一人一回3冊まで（新着図書は貸出期間が異なります）

新着本の紹介

- ▶「商店街の復興-歩いて楽しめるコミュニティ空間」 広井良典著
- ▶「学校と社会をつなぐ！-これからの人づくり・学校づくり・地域づくり」 藤原文雄他著
- ▶「みんなで創ろう コミュニティスクール」 貝ノ瀬滋編

紹介はほんの一部。様々な本が揃っているので、ぜひお立ち寄りください。

## 団体の活動にお役立てください！



### NEW 貸出備品



貸出備品の詳細はコチラ

イベントや会議など開催時に貸出できる備品が3点 増えました！

- ① プロジェクター ②スクリーン・大 ③放送設備一式

その他、テント・屋外用長机・椅子・名札ストラップなど揃っています。借りたい物がある時はサポセンに相談を…。※貸出条件は、市民活動やボランティア等の公益活動に限ります。

#### ①プロジェクター (エプソン EB-W06)



※明るい所でも綺麗に映る

#### ②スクリーン・大 (パンタグラフ型)



サイズ 234×12×210 cm  
重量 12 kg

#### ③放送設備一式 (ワイヤレスマイク 2 本付) JVC ケンウッド PE-W50B



重量 5.5 kg

#### ■ 予約受付 ■

##### ◎DB 登録団体

利用日の **3ヶ月前** から

##### ◎DB 登録してない団体

利用日の **2ヶ月前** から

1泊2日 500円

無料

申込手順

- ①「備品利用貸出規約」を確認
- ②「備品借用申請書」を提出  
(申請書はHPからダウンロード可、記入後メールか直接窓口へ提出)
- ③借用当日 利用料支払い
- ④付属品など確認して返却

#### ※お願い※

- ・返却時は汚れを拭き取って下さい
- ・不具合や破損等、気付いた点があった場合は、**必ず**窓口にお知らせ下さい。

～大切、丁寧に使っていきましょう～

## 受入報告

放デイのお子さんがサポセンで園芸作業

～「のびの木」中高生クラスの活動の一環で～

10月下旬の夕方、放課後等デイサービス（略称：放デイ）を県内で展開している「のびの木」の茅ヶ崎本村の中高生クラスのお子さんたち6名がスタッフの先生方4名と来館、ボランティアとしてサポセンで園芸作業を行っていただきました。

これは、当クラスの課外活動の一環として企画されたもので、具体的には道路沿い花壇へのパンジーなどの花苗の植え込み、建物沿いプランターへのフリージアなどの

球根の植え付け、さらには雑草の抜き取りを、日が暮れる前の1時間ほど取り組んでもらいました。

無事事故やけがもなく、みんなで掛け声を合わせて大きな雑草を引き抜くなど、終始にぎやかに作業を楽しんでもらえたようです。





茅ヶ崎で活躍中の市民活動団体を追っかけレポート！

# さぼちゃんが行く！

団体情報 ▶



## 平和を考える茅ヶ崎市民の会実行委員会

戦争のない世界を、核兵器の世界をめざして、地域・家庭から草の根平和運動の推進をし、市民に平和の尊さを伝え、考えていただく活動を行っています。(設立 1988 年 6 月、正会員 20 名)

《委員長の野原 富美子さん、会員の長谷川 由美さんにお話をうかがいました》

### 「平和」の大切さを呼びかける活動をずっと

茅ヶ崎市より委託を受け 1962 年「平和都市宣言」、1985 年「茅ヶ崎市核兵器廃絶平和年宣言」2つの宣言に基づき平和啓発活動を行っています。市と協働で運営していく上で、行政、市民、各種団体から委員が選出され、様々な方と共に活動をしてきました。

しかし、残念なことに財政上の理由により 2021 年度から市からの委託がなくなり、またコロナ禍で活動の場が縮小されたまま元に戻らない状態です。このように活動の制限がある中でも「活動を止めるわけにはいかない！」という思いで今までの実績を踏まえ、できることを続けています。

「平和」という広い意味の中でも「戦争の悲惨さを忘れないように」が活動の柱。毎年 8 月に行う「原爆展」では広島、長崎の被爆の惨状や茅ヶ崎で戦争中に起きたことを資料やパネルで紹介。その他、原子爆弾の 2 分の 1 サイズのオブジェ（広島:リトルボーイ、長崎:ファットマン）展示、紙芝居などで分かりやすく原爆について伝えています。8 月と 2 月には、市内小中学校の協力を得て、平和に対する思いや願いが込められた短文を展示する「平和への願い 短文展」も開催しています。

### 若い世代へ伝え継ぐ

戦争の悲惨さを若い世代にも伝える機会を大切にしています。語り継ぎの依頼があれば出向いていましたが現在、語り部の方は高齢のため DVD の貸し出しをしています。また去年から今年にかけ、市内小中学校から平和啓発として原爆に関するパネルや資料の貸し出し依頼がきています。校内の合唱コンクールで「消えた 8 月」を歌うため、生徒に原爆への理解を深め、寄り添う気持ちを持って欲しいと中学校から依頼があり、パネルや資料に加えて視覚的インパクトがある原子爆弾のオブジェも貸し出したそうです。きっと本番当日は、平和の願いを込めた歌声が会場いっぱいに広がり、感動をもたらしたことでしょう。



2017 年からは、サボセン主催事業の「ボランティア塾 in 鶴嶺高校\*」に参加しています。  
(\*ボランティア塾 P4 参照)  
今年の授業のテーマは

「平和 PEACE のインフルエンサーになろう」～イベント企画に挑戦。参加した生徒たちから「実際に住んでいるところの戦争の被害を知るのが初めてだった」「原爆や戦争について深い知識を得られた」などの声が寄せられ、興味や共感を持つきっかけになったようです。

### 茅ヶ崎の戦時中のこと語ります

茅ヶ崎の戦時中ってどうだったのでしょうか。空襲被害で亡くなった方がいること。辻堂海岸がアメリカ軍の演習地だったため昭和 32



年位まで、砲撃の振動で崩れた家があったこと。平和のシンボル 佐々木 禎子さんが折った折り鶴「サダコのオリヅル」が茅ヶ崎市に寄贈されていること。お二人から話を聞けば聞くほど興味深い話がたくさんありました。

「原爆展」では、パネルを見て体験談や昔の茅ヶ崎を語ってくれる年配の方も多く、ショッピングセンターでの展示時は、幅広い世代の方が足を留めて、戦時中の茅ヶ崎について興味を持ってくれる方がとても多いと実感するそうです。

市民の方とのふれあいを通じて得た昔の貴重な話はしっかり受け止め、団体の大切な資料として保存しパネル展や資料として紹介しています。

「原爆パネルや資料は貸し出し可能で、必要なら説明スタッフも派遣します。興味がある方は連絡をください!」「平和」を考える機会を多くの方に届けたい思いが伝わってきました。取材をきっかけに昔の茅ヶ崎をもっと知りたいと思ったと同時に、改めて平和の大切さを考えることができました。世界中の人が平和で過ごせるように...願いはみな同じ、皆さんも「原爆展」や「短文展」に足を運んでみてはいかがでしょうか。

### <今後のイベント情報>

2025 年 2 月 5 日(水)~7 日(金)、市役所本庁舎 1 階ふれあいプラザで「平和の願い 短文展」が開催されます。市内小中学校から寄せられた約 1900 編の短文の他、平和の願いを書に託した「書」の展示もあります。



# お知らせ

## 令和7年度実施「市民活動げんき基金補助事業（市民活動推進補助事業）」募集中

「市民活動げんき基金」を財源に、市民の自主的で公益的な事業を財政面（補助金の交付）や相談・情報提供等により支援する制度です。活動を軌道にのせたい、活動の拡充や発展を目的に次の一歩として新規事業を展開したいなど、市内で主に活動している市民活動団体が応募できます。

市民活動推進  
支援し続けるミーツ



制度の詳細、募集要項は市 HP を check !

募集期間：令和6年12月20日(金)まで

### ◆「伝わる！企画書作成相談会」◆

読み手に伝わる企画書の書き方や、有効な予算の立て方など、申請書類作成の個別相談です。

- ・期 間：12月19日(木)まで ※12/4(水)・12/18(水)を除く、期間中の月・水・木曜日
- ・時間帯：①14：00～ ②16：00～ ③18：00～ のいずれか（左記以外でも対応できる場合があります）
- ・場 所：ちがさきサポセン、1団体につき1～2時間
- ・申込み：サポセン窓口（88-7546）かメールまたは右記 QR コードより
- ・持ち物：募集要項、事業企画書、サポセン DB 未登録団体は団体活動が分かるパンフレットやチラシ等



申込みはコチラ△

### ■ パソボラ湘南主催 IT 支援

パソコン・スマホのお悩み事をサポセンで相談！

開催日：第2・第4月曜日(無料・予約制)

①13：00～14：00 ②14：00～15：00 ③15：00～16：00

※各回定員2名 ※申込受付：毎月1日から

※お申込みは、直接 NPO 法人パソボラ湘南へ

TEL 申込(16 時以降)▷杉岡さん 090-9543-0070

### ■ 広報ちがさき「市民の活動だより」

毎月1日発行の「広報ちがさき/市民の活動だより」コーナーで市民活動団体を紹介しています。

- ▷12/1号：じゃおクラブ湘南
- ▷1/1号：茅ヶ崎ラフターヨガクラブ
- ▷2/1号：市民劇団「オンリーワン」

紙面の都合上、掲載が延期される場合があります

### サポセンカレンダー

<○休館日、□館内利用制限日>

12月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 |    |    |    |    |

- ・12/4 PM 市民活動の「相談会」
- ・12/7 PM NPO 講座2
- ・12/14 AM こどたん+2025 場所時間調整会議
- ・12/27 PM～ 年末年始休暇

1月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    | ①  | ②  | ③  | 4  |
| 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |

- ・1/11 PM SDGs カフェ 11
- ・1/16 PM NPO 講座3
- ・1/26 PM SDGs カフェ 12

2月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    |    | 1  |
| 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  |
| 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |    |

- ・2/22 PM NPO 講座4

※最新情報はホームページにてご確認ください。

主催イベント開催のため、フリースペースのご利用を制限させていただく場合があります。ご理解ご協力の程お願いいたします。

### ちがさき市民活動サポートセンター

開館時間 9:30～21:30（休館日：毎月第3水曜日、年末年始(12/28～1/3)）

アクセス JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩 10 分程度・駐車場 14 台・障がい者用駐車場 1 台・駐輪場あり

連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 TEL/FAX：0467-88-7546

E-mail：s-center@pluto.plala.or.jp URL：https://sapocen.net/

編集・発行 認定特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき

(指定管理期間：2021 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

サポセンキャラクター  
“さぼちゃん”



サポセン HP